

地域につくろう

家庭教育支援チーム

～地域のつながりで支える家庭教育～



家庭教育は、全ての教育の出発点です。

このリーフレットは、家庭教育支援チームをつくったり、チームで活動したりするときに役立つ情報やノウハウをまとめたものです。このリーフレットを活用していただき、山口県全体に家庭教育支援の輪が広がることを期待しています。

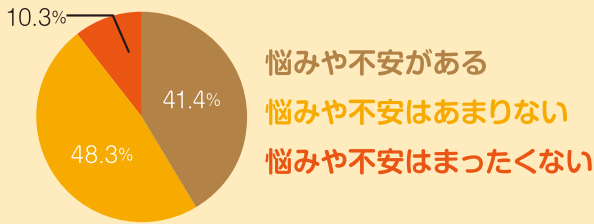
【連絡先】 山口県教育庁 社会教育・文化財課 家庭・地域教育班
〒753-8501 山口市滝町1-1
TEL:083-933-4661 FAX:083-933-4669

つくろう家庭教育支援チーム

家庭教育・子育ての現状

●約4割の保護者が子育てに悩みや不安を抱えています

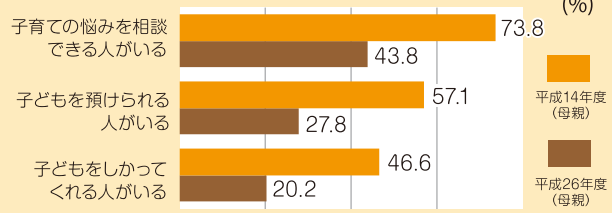
〈子育ての悩みや不安〉



文部科学省委託調査「家庭教育の総合的推進に関する調査研究～家庭教育支援充実のための実態等把握調査研究～」（平成28年度）

●地域のつながりが希薄化しています

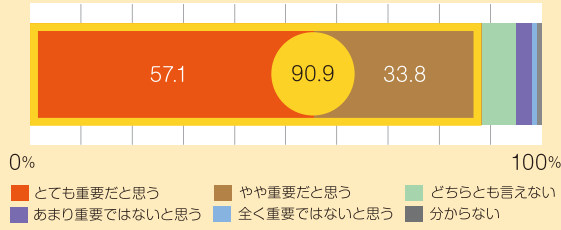
〈地域の中で子どもを通じた付き合い〉



(株)U.F.J総合研究所「子育て支援策等に関する調査研究」(厚生労働省委託調査)(平成14年度) 三菱UFJリサーチ&コンサルティング「子育て支援策等に関する調査研究2014」(平成26年度)

●約9割の保護者が子育てについて地域の支えが重要だと思っています

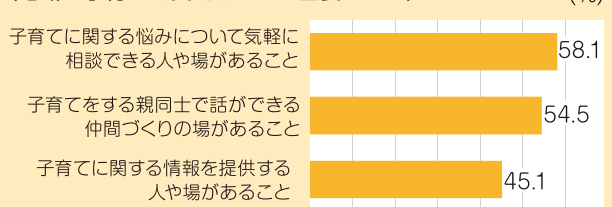
〈子育てする人にとっての地域の支えの重要性〉



内閣府「家族と地域における子育てに関する意識調査」(平成25年度)

●多くの人の子育てに関する相談や交流のできる人や場があることが重要だと思っています

〈地域で子育てを支えるために重要なこと〉



内閣府「家族と地域における子育てに関する意識調査」(平成25年度)

地域の身近な存在として、保護者と同じ目線で寄り添う支援が必要です

今、地域で家庭を支える家庭教育支援チームが求められています
チーム員が役割分担することで、組織的・継続的な活動が可能になります

家庭教育支援チームとは？

身近な地域での様々な取組や講座等の学習機会の提供や親子で参加する行事の実施、子育てや家庭教育に関する相談対応や地域の情報等の提供を行います。

状況に応じて、学校や地域、教育委員会などの行政機関や福祉関係機関と連携・協働しながら、子育てや家庭教育をサポートします。

支援の対象イメージは？

専門的な対応が必要な家庭
不安や悩みを抱えている家庭
全ての家庭

児童相談所・学校等
専門機関による対応

家庭教育支援チーム
による対応

家庭教育支援チームを形成するには？(下記は一例です)



ホップ

I 現状の把握

- ・学校や福祉部局等
既存の取組の確認
- ・保護者や学校の
ニーズの確認

ステップ

II チームの編成

- ・家庭教育支援員の発掘・養成
養成講座や研修会の開催
- ・運営のルールづくり
設置要綱の作成、委嘱手続等
- ・活動拠点の確保
学校のコミュニティルーム、
公民館等

ジャンプ

III 支援活動の実施

- ・学習機会の提供
- ・親子参加型行事の実施
- ・相談対応や情報提供

IV 支援体制の充実

- ・連絡会議等の開催
- ・チーム設置数の拡大

家庭教育支援チームの活動内容

家庭教育支援チームは、学校、公民館、市町教育委員会等を活動拠点として、子育て学習会や、親子参加型の行事などの支援活動を行います。また、チーム員が家庭を訪問して個別の相談対応や情報提供を行うことも考えられます。

地域の実情や保護者からの要望、チーム員の得意分野に応じて、こうした活動の中で、できるものから始めていくことも可能です。

学習機会の提供

就学時健康診断や保護者会など多くの保護者が集まる機会を活用し、子育てや家庭教育などに関する学習機会を提供します。

【活動例】

- ・新入児一日入学時の講座
- ・子育て学習会



みんなで学ぶ生活習慣

親子参加型行事の実施

親子や地域のつながりを深めるために、親子参加型行事を展開します。

【活動例】

- ・乳幼児や保護者と中学生のふれあい行事
- ・親子による清掃ボランティア



親子で楽しむバルーンアート

相談対応

保護者が抱える悩みや不安に耳を傾け（傾聴）、求められれば必要な助言を行います。

【活動例】

- ・学校のコミュニティルーム等を活用した相談対応
- ・家庭訪問による個別の相談対応



気軽に相談 笑顔でほっこり

情報提供

子育てや家庭教育に関する様々な情報（学習機会、親子参加型行事等）を提供します。

【活動例】

- ・家庭教育に関する情報紙の発行
- ・家庭訪問による情報紙の配布



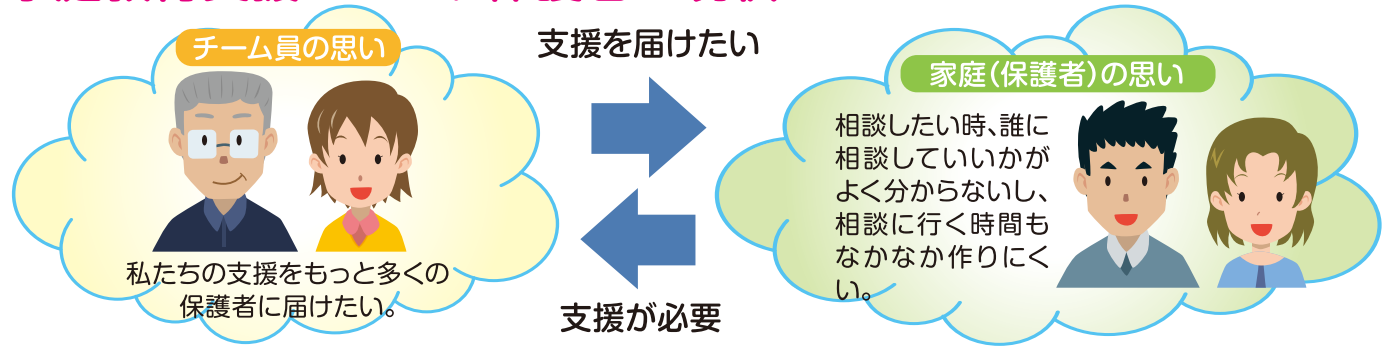
みんなに届ける子育て情報

専門機関への橋渡し

相談対応や情報提供などの取組では対応が難しいケースを、支援チームだけで解決しようとするとかえって問題を深刻化させることもあります。このようなケースについては、専門機関と情報を共有し、支援をつなぎます。

家庭教育支援の充実に向けて

家庭教育支援チームや保護者の現状



これからは、届ける支援(訪問型家庭教育支援)に大きな期待が寄せられています

訪問型家庭教育支援とは

目的：学びの場や相談の場などに出向くことが難しい保護者に、チーム員が家庭を訪問して支援を届け、保護者への支援を通じて子どもの育ちを支えていくこと。

- 取組内容**：①保護者からの相談への対応
②保護者に対する情報提供
③専門機関への橋渡し

チーム員にとって大切なことは、保護者と同じ目線に立って寄り添うことです。

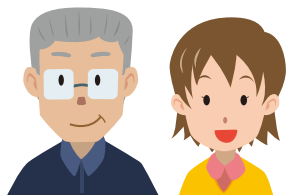


届ける支援(訪問型家庭教育支援)で、このような効果が期待できます

チーム員の声

保護者同士のつながりができた

子育てサロンを紹介し、参加してもらうことで、保護者同士をつなぐことができました。



訪問で個別相談に対応できた

相手の都合に合わせて訪問し、困り感に寄り添うことで、不安の軽減につながることができました。

直接会って情報提供ができた

子育て学習会のことを直接伝え、保護者の参加を促す支援ができた。

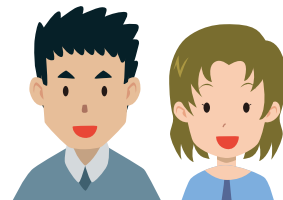
専門機関への橋渡しができた

訪問による相談対応で、保護者の不安の原因が分かり、福祉部局の支援につながることができました。

家庭(保護者)の声

親同士の知り合いができた

チーム員の誘いで子育てサロンに参加したら、面識がない保護者とも話ができ、交友関係が広がった。



悩みや不安が軽くなった

忙しくて相談に行けなかったけど、私の都合に合わせて自宅で悩みを聞いてくれたので、気持ちが楽になった。

学習会の情報を教えてくれた



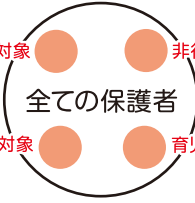
チーム員が手渡しで情報紙のポイントを話してくれたので、内容がよく分かった。

安心感につながった

自分の地域に支援を届けてくれるチームがあることを知り、とても心強く思った。

訪問型家庭教育支援のイメージ(例)

地域の実情に応じて訪問の方法を選択したり、組み合わせたりすることが大切です。

面の支援	帯の支援	点の支援
 <p>全ての保護者</p>	 <p>中1保護者対象 全ての保護者 小1保護者対象</p>	 <p>不登校対象 非行対象 全ての保護者 ネグレクト対象 育児不安対象</p>
全戸訪問(全ての家庭を訪問の対象とする)を行う。	対象年齢を限って全戸訪問を行う。	具体的な課題を抱える家庭を訪問の対象とする。

出典:「家庭教育支援の具体的な推進方策について」平成29年1月 文部科学省 家庭教育支援の推進方策に関する検討委員会から

訪問型家庭教育支援を取り入れたチームの活動事例

岩国市や宇部市では学年を絞った支援や、個別の課題に応じた支援などに取り組んでいます。また、学校と連携することにより、きめ細かい支援につなげています。

岩国市「平田の子どもたち元気応援チーム」

《チームの特長》

活動拠点は
小・中学校

教職員やSSW
(スクールソーシャルワーカー)
との協働

小学1年の家庭への
帯の支援

支援希望家庭への
点の支援

●学校との連携による子どもへのかかわり

●小学1年の家庭訪問

●おしゃべり広場「ほっこり」

取組

職員室に机を配置
朝のあいさつ運動や学習支援等

学校の家庭訪問に支援員が同行

月1回、学校や公民館で
子育てサロンを開催

家庭訪問で、
子どもの“よさ”を
保護者に
伝えています。



効果

学校との情報共有により、きめ細かい
支援につなぐことができた

チーム活動の紹介をし、
困り感(支援ニーズ)の把握ができた

子育てについて保護者がおしゃべりを
楽しみ、思いを共有できた

宇部市「こどもえがおサポートチーム」

《チームの特長》

3中学校区で
3チームを展開

SSWが
チームリーダー

福祉部局等との連携
によるチーム編成

学校と連携した
点の支援

●学校と連携したチーム会議

●小学1年の保護者を対象にした個別面談

●「えがおdeサロン」

取組

中学校区で学校と対応方針を協議

学期末の個人懇談に合わせ小学1年の
保護者を対象とした相談機会を提供

月1回、学校や公民館で
子育てサロンを開催



学校行事と
連携したチームの
支援活動により、効果が
高まっています。



効果

SSWとの家庭訪問により、
手厚い支援につなぐことができた

担任とは立場の違うチーム員
による相談支援ができた

チーム員と保護者、保護者同士を
つなぎ、子育て情報を提供できた

あなたも
参加しませんか？

家庭教育支援チームに!!

今、保護者が安心して子育てをするために、身近な地域でのチームによる手厚い支援が求められています。ぜひ、あなたも家庭教育支援チームに参加し、地域の子どもたちのために活動してみませんか。



既存チームへの加入

チームに入って活動したいけど、どこに連絡すればいいの？

まずお住まいの市町の窓口にご相談してみよう！
県の社会教育・文化財課でも相談にのってもらえるよ。→ **AC**



新規チームの立ち上げ

チームを作りたいけど、手順がよく分からないから教えて！

市町や県の窓口にご相談してみるといいよ！
同じ志をもつ人とつながるために、県の講座に参加するのもいいかもしれないね！→ **ABC**



スキルアップ

家庭教育支援について学べるいい講座はないかな？

あなたにぴったりの講座があるよ。家庭教育について相談に応じる「家庭教育アドバイザー」を養成する県の講座があるよ。→ **BC**



A 市町の窓口 (平成30年3月現在)

市町名	担当窓口	TEL
岩国市	岩国市教育委員会 生涯学習課	0827-29-5210
和木町	和木町教育委員会	0827-53-3123
柳井市	柳井市教育委員会 生涯学習・スポーツ推進課	0820-22-2111内線(333)
周防大島町	周防大島町教育委員会 社会教育課	0820-78-2205
上関町	上関町教育委員会教育文化課	0820-62-0069
田布施町	田布施町教育委員会 社会教育課	0820-52-5813
平生町	平生町教育委員会 社会教育課	0820-56-6083
下松市	下松市教育委員会 生涯学習振興課	0833-45-1870
光市	光市教育委員会 文化・社会教育課	0833-74-3604
周南市	周南市教育委員会 生涯学習課	0834-22-8621

市町名	担当窓口	TEL
山口市	山口市教育委員会 社会教育課	083-934-2865
防府市	防府市教育委員会教育部 生涯学習課	0835-23-3015
宇部市	宇部市教育委員会 社会教育課	0836-37-2780
山陽小野田市	山陽小野田市教育委員事務局 社会教育課	0836-82-1204
美祢市	美祢市教育委員会 生涯学習スポーツ推進課	0837-52-5261
下関市	下関市教育委員会教育部 生涯学習課	083-231-7968
萩市	萩市民民活動推進部 文化・生涯学習課	0838-25-3511
長門市	長門市教育委員会 生涯学習スポーツ推進課	0837-23-1259
阿武町	阿武町教育委員会	08388-2-0501

B 県教委主催の講座

養成講座修了者対象

【家庭教育アドバイザー養成講座】

家庭教育支援に必要な基礎的な知識とスキルを学ぶことができます。

【家庭教育アドバイザーステップアップ講座】

演習を主体としてより実践的な力を身に付けることができます。

■養成講座・ステップアップ講座ともに受講者の満足度 ★★★★★ (平成29年度実績)

■全国的に活躍している家庭教育に関する専門家や実践者を講師として多数招へい!

C 県の窓口

社会教育・文化財課 家庭・地域教育班 (083)933-4661